

岩手県山田町長が島田市を訪問 「受け入れに感謝」

◎環境課 ☎34・1122

岩手県山田町の沼崎喜一町長が、6月6日に島田市を訪れ、東日本大震災で発生した災害廃棄物（木材チップ）の本格受け入れに対して「市長をはじめ市民の皆さまには、がれきの受け入れをいち早く決めていただき、改めて感謝申し上げます」とお礼の気持ちを述べました。

また、本格受け入れした災害廃棄物の中に、コンクリート片が混入していたことについても「多大なご迷惑をお掛けし、町長として心からお詫び申し上げます」と陳謝しました。

桜井市長は「混入は東北の惨状を思えばやむを得なく、再発防止策もあるので、溶融炉の点検が終われば、再開していきたい」と話しました。

その後、沼崎町長は、田代環境プラザのある伊太区自治会の佐藤博海会長と面会し、コンクリート片混入について謝罪しました。

市は6月22日、災害廃棄物の受け入れについて、ごみ処理施設のある伊太区自治会と「田代環境プラザでの災害廃棄物受入処理に関する伊太区自治会との覚書」を結びました。

覚書には▽一般ごみに災害廃棄物（破碎した角材や柱材などの木材）を15%程度混入すること▽処理施設周辺住民の安全安心を確保するため、処理



感謝とお詫びの意を述べる山田町長

する際の放射能濃度や周辺施設の空間線量率の検査・測定を行うこと▽市ホームページなどで、検査結果を報告すること▽溶融飛灰の放射性セシウム濃度が、1kgあたり500ベクレル以下とすることなどが盛り込まれています。

また、伊太区自治会は同日、山田町から受け入れた災害廃棄物にコンクリート片が混入して溶融が中断している問題で「岩手県と静岡県が再発防止策を講じている」として、処理再開を了承しました。

▼災害廃棄物の受け入れについての詳細情報は、環境課のホームページでご覧いただけます。

☐ http://www.city.shimada.shizuoka.jp/kankyousisetu/gareki_top.jsp

台湾で島田市のお茶と島田の文化をPR

◎政策推進課 ☎36・7197

富士山静岡空港から台湾への定期便が就航し、より身近になった台北市と嘉義市を、桜井市長をはじめお茶の郷博物館長ら9人が訪問。6月26日から28日にかけて、各地で島田市のお茶や文化をPRしてきました。

嘉義市を走る阿里山森林鉄道と大井川鐵道は、25年にわたり姉妹鉄道として友好関係にあります。訪問団は、嘉義市の黄敏恵市長を表敬訪問。深蒸し茶の入れ方を実演してお茶を味わってもらったり、日本髪を結った「島田鬻娘」による日本舞踊「さくらさくら」を披露したりしました。

黄市長は「もともと日本茶は好きだ



挨拶する桜井市長と黄市長（右から2番目）

が、今日のお茶を飲んで、ますます好きになった」と、おかわりを求めるほど。終始和やかな雰囲気の中、両市長は、今後も市民交流を活発に行い、友好関係を深めていくことを確認し合いました。そして桜井市長からは、SLフェスタ2012への案内状が手渡されました。

一方、市内では艶やかな鬻娘が大好評。行く先々で市民に写真撮影を求められ、日本と島田市の文化をPRすることができました。

また、台北市内で開催された国際食品見本市「FOOD TAIPEI」では、茶娘や鬻娘などが、島田市のお茶の一煎茶パックとともに、島田市のお茶を紹介するチラシを配りました。



島田市のお茶を振る舞う鬻娘と茶娘

クールビズで島田帯シャツを着用

◎政策推進課 ☎36・7191

市では、7月2日から10月末までのクールビズ実施期間中、市民課と総合案内担当の女性職員が「島田帯シャツ」を着用して窓口サービスに努めます。

島田帯シャツは、市内事業者と島田商工会青年部が中心となって開発した製品で、浴衣地に襟元や胸元を西陣織の帯生地であしらった「帯のまち島田」らしい仕上がりになっています。

特に、来年開催される島田大祭に向けて、市内各事業者においても、島田帯シャツを着用する取り組みを進めるため、市をあげて協力していきます。

また、市内事業者に対しての生産技術の指導や販売店のネットワークの拡



帯シャツを着用して窓口対応する職員

静岡地域消防救急広域化のホームページを開設

◎島田市消防本部消防総務課 ☎37・7172

◎静岡地域消防救急広域化運営協議会事務局 ☎054・255・0125

平成28年度からの静岡地域（静岡市・島田市・牧之原市・川根本町・吉田町）の消防救急広域化の実現に向けて、6月1日に静岡地域消防救急広域化運営協議会が設置されました。

運営協議会では、広域化後の各市町の消防救急活動を円滑に行うための消



防救急広域化運営計画の策定にあたり、地域住民の皆さんに消防救急の広域化についてご理解を深めていただくとともに、皆さんからのご意見・ご要望を運営計画に反映させていくために、ホームページを開設しました。

市ホームページにも、バナーを設けてあります。ぜひ、一度ご覧ください。

☐ <http://www.city.shizuoka.jp/deps/shobokoukika/index.html>

川根温泉「ふれあいの泉」経営状況報告

◎観光文化課 ☎36・7244

◎川根温泉 ☎53・4330

島田市川根温泉「ふれあいの泉」の指定管理者である(株)川根町温泉から、平成23年度の決算が報告されましたので、お知らせします。

【温泉】

項目	平成23年度	対前年比
営業日数	351日	2日増
入館者数	32万3164人	8.9%減
1日平均	920人	—
売上高	5億2644万9910円	7.1%減

項目	平成23年度	対前年比
営業日数	362日	3日増
稼働率	83・5%	2.5%増
稼働率	3024棟	115棟増

平成23年度ふれあいコテージの利用状況

コテージの稼働率増加の主な要因としては、インターネット予約システムの導入により、宿泊予約が容易にできるようになったことなどが挙げられています。

田代の郷温泉「伊太和里の湯」入館者数実績

◎観光文化課 ☎36・7244

◎伊太和里の湯 ☎33・1148

田代の郷温泉「伊太和里の湯」平成23年度入館者数実績をお知らせします。

項目	入館者数
平成23年4月	16,626人
5月	17,827人
6月	14,455人
7月	15,505人
8月	18,049人
9月	14,873人
10月	17,706人
11月	16,319人
12月	16,035人
平成24年1月	20,754人
2月	17,780人
3月	16,459人
平成23年度計	202,388人
平成22年度計	162,724人

営業日数 / 310日
1日平均入館者数 / 653人
1日最高入館者実績 1,583人 (平成23年10月9日)

伊太和里の湯は、8月のお盆の期間中、休まず営業します。また、8月13日(月)も営業しますので、ぜひご来館ください。8月の休館日は、6日・20日・27日の月曜日です。